

日本土壤肥料学会 2023 年度愛媛大会「高校生による研究発表会」実施要項

(一社) 日本土壤肥料学会 土壤教育委員会

2023 年 9 月 12 日～14 日に開催の日本土壤肥料学会 2023 年度愛媛大会におきまして、高校生による研究発表会を下記要領で開催いたします。ふるってご参加ください。

記

- 実施目的 高校生がクラブ活動や課外活動などで行ってきた研究の成果を発表し、研究成果について専門研究者と議論したりアドバイスを受けることに加え、研究者との交流を通じて、更なる研究の発展を考える機会を提供することを目的とします。さらに、この発表会を通じて、高校生が土壌や植物生育、食料生産、環境問題に対して理解と関心を高めるとともに、広く自然科学に対する興味を深め、今後の成長に資することを目的とします。
- 主 催 一般社団法人 日本土壤肥料学会
- 日 時 ポスター発表：2023 年 9 月 12 日 (火) 11:00～12:00 (予定)
(説明のためのコアタイムは 60 分です。詳細は後日公表します。)
オンライン発表：2023 年 9 月 7 日 (木) ～18 日 (月)
- 会 場 愛媛大学 城北キャンパス
- 発表形式 発表は対面のポスター形式とオンラインの LINC Biz によるハイブリッド形式です。会場参加の生徒は展示ポスター前で発表、説明してください。
遠方等事情により会場まで来られない場合は、オンラインの LINC Biz での発表になります。チャットにより質疑応答して頂きます。
- ・対 象 原則として、高等学校または高等学校に相当する教育機関に在籍する生徒であること。国籍は問いません。
- ・応募資格 対象教育機関の生徒 (指導教員も参加可)
- ・分 野 化学、生物、地学、環境学およびそれに関連した科学研究一般の中で、以下のキーワードと関連する分野
- ・キーワード 土壌、肥料、植物栄養、食料生産、環境
- ・展示用ポスター ポスターは縦 120 cm、横 90 cm 以内で作成して下さい。ポスターには発表タイトル、学校名、発表者名を明記してください。
- ・オンライン用プレゼンテーション 詳細につきましては、申込まれた方に連絡致します。
- ・参加費 無料
- ポスターの掲示及び撤去 ポスターは愛媛大会の会場にご持参ください。発表後には各発表グループで撤去をお願いいたします。
- 参加者 生徒、教員等 (遠方等事情により会場まで来られない場合は、この限りではありません。また、発表者は学会に入会する必要はありません。)
- 申込方法 **【発表申込み】2023 年 5 月 25 日 (木) (必着)**
別紙の申込用紙 (様式 1) に必要事項を記入し、下記宛先まで E メールに添付して送付してください。送付の際には、件名を「高校生による研究発表申込」と明記してお送りください。受け付けましたら数日内にご連絡いたします。連絡がない場合は必ずお問い合わせください。なお、発表件数が多い場合には抽選となることがあります。その場合には後日連絡します。

【講演要旨提出】2023年6月15日(木) (必着)

講演要旨(本文400字以内)を、要旨ファイル(様式2)に入力の上、下記宛先までEメールに添付して送付してください。送付の際には、件名を「高校生による研究発表講演要旨」と明記してお送りください。

■申込み先/問合せ先

Eメール: soileducation2023@gmail.com

〒689-1111 鳥取市若葉台北1-1-1 公立鳥取環境大学環境学部 角野貴信

〒753-8515 山口市吉田1677-1 山口大学大学院創成科学研究科 藤間 充(副担当)

■その他

- ・講演要旨 申込の際に400字程度で記入していただいた発表要旨は大会の講演要旨集(PDF)に掲載いたします(PDFファイルの頒布については別途、ご連絡いたします)。
- ・表彰 優秀な研究発表にはポスター賞を授与します。審査結果と講評は、後日、日本土壤肥料学会webサイトに掲載します。
- ・参加費 参加生徒並びに引率教員は参加費を無料とし、大会の一般講演、シンポジウム等の聴講も可とします。また、LINC Bizで行われるポスター発表の参加も可とします。
- ・宿泊費補助 発表に際して宿泊費の補助が可能です。補助を希望する場合は申込書に記入してください(補助額は1校あたり1~2万円を予定しております。すべての希望に対して補助いたしますが、希望数が多い場合には補助額が少なくなる可能性があります)。
- ・重複発表 校内・校外学習や、プロジェクト学習等で発表した内容については、学会での重複発表も認めます。ただし、既に他学会で発表した内容あるいは発表する予定のある内容を含むものについては、その発表内容との違いを明確にしたり、発展した内容を加えたりしてください。
- ・執筆依頼等 発表後に生徒・指導教員の方に研究への取り組みの動機、発表の感想、学会後の研究活動の展望などについて日本土壤肥料学会会誌への執筆を依頼することがあります。また、ポスター賞を受賞された場合、同会誌にポスターを掲載いたします。いずれもご承諾頂いた上の掲載となります。ご協力をお願いいたします。

※(一社)日本土壤肥料学会および土壤教育委員会について

本学会は、食糧の生産に深く関係している土壌学、肥料学、植物栄養学の近代的な理論と技術体系を構築することを目的として、1927年に設立された学術団体で、現在約1,800名の会員を擁しています。昨年度の東京大会では、約700名が参加し、350題以上の研究発表がありました。本学会の詳細はホームページ(<https://jssspn.jp/>)をご覧ください。また、2023年度愛媛大会の詳細は大会ホームページ(<https://www.jssspn.org/2023/>)をご覧ください。

高校生による研究発表会は、2009年度京都大会から高校生ポスター発表会の名称で開催され、これまで多くの高校生からの参加をいただいております。本発表会の運営主体の土壤教育委員会は、初等中等教育現場における土壌の理解と知恵を育てる教育のあり方について検討する本学会内の委員会で、本発表会のほか、土壌の観察会の開催、テキスト等の出版、出前授業の実施などの活動を行っています。これらの活動の詳細はホームページ(<https://jssspn.jp/edu/>)をご覧ください。

様式 1

高校生による研究発表会申込用紙

(ふりがな) 学 校 名	
学校所在地	
TEL	
FAX	
担当者E-mail (担当者名)	
引率教員名 (担 当教科)	()
参加生徒 氏名 (ふりがな) ・学 年	
クラブ等の名称	
発表タイトル	
キーワード	土壌 ・ 肥料 ・ 植物栄養 ・ 食料生産 ・ 環境 (○で囲む、複数可)
内容	要旨ファイル (様式2) に、必要事項をご記入の上、6月15日 (木) (必着) までにご提出ください。
参加形態	当日会場参加 ・ オンラインのみで参加 (○で囲む)
宿泊費補助	希望する ・ しない (○で囲む)
備 考	

※ 発表課題が複数ある場合、申込用紙を1課題ごとに1枚作成して下さい。

※ 宿泊費は、学校ごとの補助となります。

(参考)

2022 年度東京大会での発表課題

	発表題目	学校名	クラブ名等
1	北海道稲田における CNSL 添加によるメタン発生抑制のメカニズム研究 ななつぼしにおける効果測定	札幌日大高等学校	SSH
2	土幌町の有機栽培モデル農場の確立へ ～馬鈴薯の収量安定化に向けた試験栽培～	北海道士幌高等学校	畑作専攻班
3	サトイモの超促成栽培に関する研究	山形県立村山産業高等学校	農業科学部サトイモ研究班
4	オタネニンジンの生育における土壌形態と物理性の調査研究	栃木県立鹿沼南高等学校	環境緑地科
5	タマネギ連作圃場でリン酸減肥栽培がタマネギの収量に及ぼす影響 ーリン酸肥料の違いによる検証ー	北海道岩見沢農業高等学校	農業科学科 SS 専攻班
6	バイオチャーの散布はダイコンの成長及び収量に影響を与えるか	東京農業大学第三高等学校	理数探究課程
7	カボチャの種、捨てますか？育てますか？～家庭でできる工夫～	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	化学生物同好会
8	高オレイン酸ヒマワリ種子の飼料化に向けた研究 ～肉質及び脂肪中オレイン酸割合の向上を目指して Second season～	青森県立三本木農業恵拓高等学校	COW 飼う' S
9	廃棄ニンジンを活用した機能性鶏卵の生産に向けた研究 ～卵黄色及び卵黄中レチノール量の向上を目指して～	青森県立三本木農業恵拓高等学校	PINE LAB
10	木材廃棄物の再利用実験	北海道函館中部高等学校	普通科 SS 特講Ⅲ
11	木材腐朽菌を用いた割り箸の堆肥化	立命館慶祥高等学校	シンガポール国際共同課題研究
12	土壌中のケラチン分解細菌の発見と羽毛分解能力の検証 校内の廃棄羽毛を利用したオリジナル窒素肥料開発に向けて	広島県立西条農業高等学校	生物工学科 ケラチン分解細菌班
13	ソバにおけるエンドファイトの単離と利用	山形県立村山産業高等学校	農業科学部エンドファイト研究班
14	鉄分量の多いもやしの栽培 キレート錯体の形を利用した鉄イオンの吸収率の変化	立命館慶祥高等学校	SS 課題研究 III
15	北海道岩見沢農業高校における土地管理が土壌化学性および土壌炭素含有率におよぼす影響	北海道岩見沢農業高等学校	農業土木工学科 環境アセスメント班
16	都市部に適した「樹木環境の復元」と「土壌改良」について ～国天然記念物馬場大門ケヤキ並木保護更新プロジェクト～	東京都立農業高等学校	造園部
17	高吸水性ポリマーを添加した土壌の保水性 合成系 SAP を添加した土壌の保水性の簡易的な測定	東京都立科学技術高等学校	課題研究
18	人工降雨が環境に与える影響について	愛知県立豊田西高等学校	愛知県立豊田西高等学校 SS 課題研究 V
19	天然染料と媒染剤の関係 食料廃棄物から環境問題への貢献	市立札幌開成中等教育学校	
20	学校構内の表土に生息する土壌生物	学校法人静岡理工科大学 静岡北高等学校	科学部 生物班

過去の対面でのポスター発表の様子は、土壤教育委員会のホームページをご覧ください。

<https://jssspn.jp/edu/activity/event/poster/>

様式 2

表題はここに入力してください MS明朝体、12 ポイント中央揃え、全角 37 文字

副題はここに入力してください。 MS明朝体、10 ポイント、中央揃え、全角 48 文字

発表者はここに入力してください。 MS明朝体、10 ポイント、右詰め
(所属はここに入力してください。MS明朝体、10 ポイント、右詰め)

本文はここから入力ください。

横 25 文字×縦 8 行×2 段で、合計 400 文字以内 (全角)で作成してください。

本文部分は、9～10 ポイント、MS明朝体で作成ください。

他のワープロソフトで作成したものを貼り付けてから体裁を整えていただくと便利です。

ファイル保存の際は以下のようにお願いします。

氏名-所属 (例：生物太郎 生物高校.docx)。

Microsoft Office Word で作成した文書と申込用紙を、
申込方法に従ってお送りください。

どうぞよろしく願いいたします。